



# かしわん、ぽっ?

2009年12月 No.12

「市民活動してみませんか？」

特集 市民活動講座報告 第11回市民活動講座 「インターネットで活動PR」

特集 市民活動講座報告 「市民活動してみませんか？」連続講座

第12回 地域で市民ができること～市民活動ことはじめ

第13回 市民活動の事務・経理・法人及び県NPO活動推進計画

第14回 柏の市民活動のこれから～若い担い手が創る、これからの市民活動

イベントききかじり

オープン記念シンポジウム 「かしわ地域若者サポートステーション」

企業との関係づくりを考えるセミナー～NPOが共感と信頼を得るには～



PeaceMakers と千葉県千葉国体による柏駅東口花壇整備

# 「市民活動してみませんか？」

## 市民活動のイメージ

「市民活動」と言われてどんな活動をイメージしますか？

市民活動をインターネットで検索するとウィキペディア (Wikipedia) では、「市民活動とは、市民が自らの価値観、信念、関心に基づき、自分たちの生活とコミュニティの貢献を目的に、自発的に行う活動。」と書かれています。非常に漠然としています。

基本的に市民活動という活動の定義が明確でないのは、その意味するところが広範だからですが、それではウィキペディアにある「自発的に」「生活とコミュニティ」への貢献を目的として行う活動とはどのような活動でしょうか？

人によって、地域でのボランティア活動を指す人もいるだろうし、あるいはコミュニティ・ビジネスと呼ばれる経済活動を伴った活動も含まれると思う人もいるかもしれません。逆に町会や民生委員のような地縁的な活動は市民活動ではないという人もいるかもしれません。一方で、何でも地域に根差した活動は市民活動だという人もいるでしょう。

## NPO立県

特定非営利活動促進法 (NPO法) が平成10年に施行されて10年以上経ちます。千葉県は前知事のリーダーシップで「NPO立県ちば」というキャッチフレーズのもとNPO活動を推進してきました。現在NPO法人数は千葉県内だけで1500団体近く、法人の数は全国で5番目に多いそうです。

NPOと言われると、NPO法人のみを指すと考えている市民はまだ少ないようです。ですが、柏市もそうですが、法人格をもっている団体は実際にはいわゆるNPOの中でも半分にも満たない数です。基本的に「非営利」かつ「公益性」の高い活動をしている団体をNPOといいます。NPOという言葉は、その組織の活動の「非営利性」をことさら強調することで、その活動の「公益性」を担保する意図をもっています。

「市民活動」は、先述の定義によれば必ずしも「非営利」である必要はなく、実際に営利活動の中にも公益性の高い活動はあるはずですが、一般的にそれらはどんなに地域に根差し、地域のコミュニティに貢献した活動であっても「市民活



動」とは呼ばれることは少ないように感じます。

### NPOで地域は良くなったか？

市民参加、市民協働という言葉をあちこちで見かけるようになりました。今は市民の地域参加が求められている時代だそうです。しかし、ではかつての地域では、市民は地域に関わっていなかったのでしょうか？決してそんなことはないはず。NPOの数が増えて、果たして「柏」という地域は以前より良くなったと感じますか？

### 市民活動の多様性と可能性

これからも市民の地域参加という言葉は言われ続けるでしょうが、その手段として「市民活動」という形をとることが最善であると言えるのか考える時があります。便宜上市民活動という言葉を使って、自らの行動を表現することが多いですが、本来市民の最大の武器はその多様性であると考えているのですが、その多様性が

果たして今の市民活動に担保されているのだろうか？

専門家はその道において深い造詣を持っているかもしれませんが、それは限られた分野におけることです。専門家にできなくても市民にできることの方が多い。それは専門性を追求することでは得られない多様な知識や経験があるからです。ただし、これは個人としての市民ではなく複数が連携、組織化した市民を指します。

最近、地域における個人やグループの活動が限定的な「市民活動」という言葉の定義により、思考や活動範囲を定義づけられ、その可能性が小さくなっているのではないかと感じる場合があります。もっと市民活動は自由であるべきではないでしょうか？いろいろな地域参加の方法があって、そこでいろいろな自己実現の方法がある。そのような地域はきっと良い地域でしょう。

そんなことを考えながら、柏市民活動センターの市民活動講座は企画しています。

多少でもそのような意図をくみ取っていただければありがたいと思っています。



## 「インターネットで活動PR」



“あなたの活動を、地域の市民の皆さんは知っていますか？

あなたが伝えたいことを、ちゃんと伝えられていますか？

インターネットを情報を得るだけの道具にしていませんか？

インターネットを使って、グローバルに仲間づくりをしてみませんか？”

と、あらためて問いかけ、まず手間隙かけずにできることから始めてみる。インターネットを使ったPR活動のはじめの一歩として、今回の講座は開催されました。

講座の内容をまとめてみました。

1、『インターネットを活用した効果的なPRとは？』

インターネットを活用する理由は、インターネット環境がある人が増えていることです。広報のポイントは、露出度が高いことと、いつ・どこで・誰が・何を・なぜ・どのようにといった必要な情報を簡潔かつ的確に知らせることですが、そのためには受け取り手を意識した客観性が重要です。

まず、知らせたい人に知ってもらうためのコンテンツの作り方は、

・インターネットは「世界に発信」ではなく「地域に発信」すること。

・デザインは見やすさを重視する  
文章は「箇条書き」がいい。  
空白行も入れる。

・知らせたい人が使っているGoogle、Yahoo!を意識する。

・検索で自分の団体がトップで出てくるキーワードを意識する。

以上を念頭に、インターネットを活用する目的はなにか、誰が管理するのか、対象者は誰か、対象エリアはどのくらいか、どのような方法なのか、課題は何かを考えてください。

2、『インターネットの無料サービスの活用方法』

(1) ブログの活用

ブログとは管理者が記事を投稿する私的ニュース、日記的なものである。簡易ホームページ作成キットで、通常考えられるホームページの機能は基本的に揃っています。デザインに凝りたい人には不満が残るでしょう。

なぜ、ブログかといえば無料ブログサービスが充実しているからです。団体として利用する場合は、必要に応じて管理者を変更しても差し障

